

寄附講義「会社研究」令和3年度 第1回目

令和3年4月14日(水) 13時10分

講師 第一交通産業株式会社

代表取締役創業者会長

黒土 始 氏

テーマ 「経営哲学」

本年度最初の寄附講座は、1月に99歳を迎えられた黒土 始大先輩による、昨年8月に続いての経営哲学に関するオンライン講義となりました。



講義資料に第一産業グループの「社是」として

一 相互に信頼し協力する。

労使関係は、グループの発展を支える根幹

二 常に社会の信用を確立する。

事業分野の拡大に伴う社会的使命の増大

三 常に生産性の向上を図る。

生産性とは物の売り買いではなく、自分の能力を上げることの三つの柱をお示しされていますが、最初に放映された社歌にも「信頼」「信用」「生産性」の三つの言葉が繰り返されています。



講義は、次のような「経営理念まとめ」を踏まえ進められました。

- 「事業は人なり」
- 「社会への貢献」という視点を持つ。
- 新しい需要を創造する
- 「人材」は「人財」
- 豊かで快適な生活環境を創造するためには、社員一人ひとりが

心豊かでなくてはならない

【座右の銘】 「努力は天才に勝る」

最後に、学生からの質疑応答において、次のお言葉がとても印象的でした。

- ・ 地域の中で新しい需要を生み出すためのアイデアは、個々のお客様の声をひとつひとついねいに聞いてそれを取り入れることの繰り返しの中から生まれるもの。
- ・ 自動運転の技術がいくら進んでも、高齢者をはじめ介助を必要とするお客様へのまごころを持ったおもてなしは、今後もますます必要となってくる。

黒土大先輩のご健康をお祈りし、今後とも引き続き私共後輩のご指導をいただければ幸いに存じます。